

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
授業改善	①単元や一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確にした授業づくりをする。②本時のめあて確認と振り返りの時間を大切にし、子どもが主体的に学習を進められるようにする。③重点研究テーマを「自ら学び ともに考え 行動する 台小の子の育成」とし、国語科を中心に、自分の思いを豊かに表現できる子を育てる。
担当	教育課程推進委員会

学力向上に関わる本校の状況

(1)学力に関わる児童生徒の実態

○横浜市学力では、3年生を除き、全ての学年の学力層が市平均を下回っている。
 ○横浜市学力・学習状況調査の学力調査チャートでは、全ての学年の学力意識、生活意識が市平均を上回っている。
 ○横浜市学力・学習状況調査の学力調査チャートの国語では、5年生を除き、全ての学年で説明的な文章の読み取りが市平均を下回っている。

(2)これまでの学校の取組状況

○全校で朝読書に取り組んだり、図書館活用を行ったりして、本に親しむ機会を設定してきている。
 ○朝のスキルタイムの在り方について見直し、新たな取組を検討してきた。
 ○R4年度から、重点研究で国語を取り上げ、自分の思いを豊かに表現する子どもを育てるための手立てについて、検討してきた。

今年度の目標

学校が担う役割や、学力の捉えを職員間で見直し、共通理解することを通して、互いの考えを認め合い、課題解決に向かって学ぶ子どもの育成ができるようにする。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育目標の実現に向けた取組内容を実現できるようにするために、職員組織の二委員会を「児童指導委員会」と「教育課程委員会」とする。さらに、「教務会」「メンター研」「業務改善委員会」を編成し、様々な視点で職員間の対話を生み出せるようにする。 ○職員で共通認識をした「目ざす子どもの姿」について、都度、話題にあげ、加筆修正をしたり、職員間の認識をさらに深めたりする。 ○学校教育目標の実現に向けた取組内容になるように、スキルタイムの活用方法について検討する。 ○自分の思いを表現する力を高めることができるように、重点研究で国語科を取り上げ、様々な表現様式にふれることができるようにする。 ○日々の授業では、児童の思いや願いが実現に近づく授業づくりを目指して、めあて設定と振り返りの時間を大切にしている。
下半期	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育目標の実現に向けた取組内容を実現できるようにするために、職員組織の二委員会を「児童指導委員会」と「教育課程委員会」とする。さらに、「教務会」「メンター研」「業務改善委員会」を編成し、様々な視点で職員間の対話を生み出せるようにする。 ○職員で共通認識をした「目ざす子どもの姿」について、都度、話題にあげ、加筆修正をしたり、職員間の認識をさらに深めたりする。 ○学校教育目標の実現に向けた取組内容になるように、スキルタイムの活用方法について検討する。 ○自分の思いを表現する力を高めることができるように、重点研究で国語科を取り上げ、様々な表現様式にふれることができるようにする。 ○日々の授業では、児童の思いや願いが実現に近づく授業づくりを目指して、めあて設定と振り返りの時間を大切にしている。